

高野山小学校説明会質疑応答

質問者：保護者・先生 回答者：町長・教育長・教育次長・担当者

Q 中学校を見に行かせていただいて間違いなく早く対応しなければならないと感じた。ペランダにも出られない状態ですし、建替えるのであれば先を見据えた学校が必要。細かいことでプールが25mあるとかではなくもっと先をみて高野山からこういう子供を育てていきたい。だからこういう施設が必要なのだ。先の目標・ビジョンを立ててからそれを全員が共有してからやるやり方のほうがいいと思っている。プール開放などは後で話をすればいい。高野山から何か特化した子供を輩出するとか夢があればそれに施設はついてくる。それがなくいろんなものをくっつけていっても施設が点在だけになるのではないか。そのエリアを活かしてどんな人材を輩出するのかを先に決めて、施設を建設したほうがいいのかできると思っている。

A 元々ここ（小学校周辺）を文教エリアにしたいという考えもありました。しかし、環境的な事を考慮しました。小学校はまだまだ使えるのではないかという意見もありますが、職員室棟は耐用年数が近づいてきているのでどうにかしないといけない。だからどうするか。将来的に中学校に文教エリアをもっていきたいなと思っています。小学校の体育館は残しますが。当然、何かに特化した子供を輩出するまちという考え方もあります。クラブ活動が熱心な学校もあります。高野町の方々、また高野山にこられる方々が訪れてみようじゃないかと思うよう、小さな子供からお年を召したからまで広くその地域に集まって勉強できる。交流できる空間づくりをしていきたいなとも考えている。

Q エリアということですか。文教エリアとは、鶯谷の地域を。

A ベビーカー押している方の横にお年寄りがいるみたい。遊び場と勉強する場所が一緒になっている。そこに小学校・中学校・こども園がある。平成17年に幼稚園の子供の減少により幼稚園と保育所と一緒にできないかという話が金剛峯寺様からありました。この町にお大師様のことを教える幼稚園がなくなるということがあってはならないということを当時考えたと聞いています。それで今の形になっています。小学校、中学校でもお大師さんのことを勉強する。宗教教育ではないですが、もっと町の歴史を学ぶ、またしっかり学べるような場所にもしたい。

Q いいと思いますよ。現代型の学童型という感じですか。何年後かになると思いますがゆくゆくはそういうエリアになればなと思います。いろいろ交通の問題とかあると思いますが、安全な道路、安全に対することを合わせてやっていくといいのかなと思います。お年寄りのとなりに孫ぐらいの子供が学んでいる風景があるエリアがあると思うだけちょっといいなと思います。

A 鶯谷地区を遠いと思わないでほしい。鶯谷地区に校舎できたら遠くなるじゃないかとか、なんであんなはずれに持っていきのとかそういうことを言う人がいる。交通の便であれば簡単に解決できる方法があるはずだ。しっかりと鶯谷地区をエリアにしていきたい。じゃあ鶯谷に通学するのはどうするのよとかね。大門の子供は遠くなる。中の橋の子供は遠くなるか言うけど、現在でも鶯谷から小学校に通っている子供たちがいる。高野山で住んでいる方に高野町全体をみてとは言わないけれど、高野山として見てもらってあんな場所とかはずれにもっていったの考え方はどうなのかと思う。

Q 公共施設をこんなに子供達が使っていないのかとよく思っている。たとえばですが、図書館があれば本を読んだり、将棋をやったり、兄弟で行ったりとか。その近くにはグラウンドがあって遊んでいる子もいれば、室内で遊んでいる子供もいる。公民館の図書室に子供が行っている姿をみたことがない。行っても寒い。体だけの寒さではなく見た目、雰囲気、もう家に帰ろうという気分になる。今度、学校が移動するのであれば近くに図書館があって学校帰りによるとか、例えば親は、近くのカフェがあってそこで時間を満喫するとか。いちいち10分かけて図書室とか、小学校に遊びに行くとかじゃなくて。10人が離れた3カ所にバラバラに遊びに行くのではなくて、その3カ所が近く横にあれば、例えば3人ではサッカーできないけど近くに友達がいるので呼んで来ようとか、中学生とかいけば中学生と交流ができるとか。できるだけ近くに施設を集めてもらって明るい雰囲気にしてほしい。学校も真っ白な壁ですけど、壁とかも木を使ってもらおうとか、見た目もあたたかくしてもらおうと子供が育ちやすいと思う。子供の環境、親の環境というのを考えてもらいたいなと思います。

A 公民館の図書室をまちかどサロン「縁」にもっていきたかった。けど公民館の図書室を作るのに補助金を使って事業を行なったので移動できなかった。学校建設にあたって図書館を作っていきます。そんなところにはしっかり投資をしていきたい。そこに遊び場があるとか考えています。あと100%木造にするというのは考えていません。できるだけ紀州材を使って内装とかは木質化したいと思っています。

Q 公民館に図書室があると知りませんでした。玄関入ってすぐの場所だと思っていました。

A 現在の公民館は位置がわるい。今後は、撤去して更地にしようかと思っています。

Q 高野町が目指す小中一貫教育の方針についてプリントを配布してもらっていますが、高野町は小中一貫を目指して建物を建てるとしていました。今日話を聞くと先生の公募など問題があるということですね。教育委員会からの建設にかかる要望書のなかで2番目の小中学校併設分離型校舎の建設が可能と書いてあるが具体的にどんなものであるのか教えてください。

A 小中学校併設分離型校舎とは、小学校棟があって、真ん中に職員室棟を含む共有棟があって、そして中学校棟があるという配置になります。例えば、小学校棟は小学生だけが使う。共有できる家庭科室・音楽室・特別教室にあっては共有で使う。中学棟は中学生だけが使う施設にしてほしいという意見です。

A 適正化債を使用するぎりぎりの案です。もともとは総務課が考えていたのは1階が小学校、2階が中学校、渡り廊下でこども園がつながるようなイメージをたたき台として作成しました。それに対して教育委員会からそれはやめたほうがいい。変更できないかという意見です。小学校を卒業したら中学校棟に行くという。小学校を卒業したらちょっと違うところに行くのだから気持ち非常に大切だという結論になったようです。じゃあどうするのかということで真ん中に共有棟をつくって左右に小学校棟、中学校棟を作る。しかし、渡り廊下でつないでしまうと適正化債が使えない。そこでこれをくっつけ一体化にするというものです。上から見たら一つの建物ですが中で分離している校舎ということですよ。

Q プリントに書いてある小中一貫教育については触れてないということでもいいですか。高野町小中一貫教育推進委員会が今どんな立場かわからないですが、保護者としては小中一貫教育を目指すということに保護者は思っていてよいのか。変わりがないと理解してよいですか。

A 小中一貫を進めていきたい。ただ、町長が小中における先生の公募だとか発言されていますが最終的な目標です。あまり一度に小中一貫に移行することが良いとは思っていません。子供たちに負担がかかってしまう可能性があるんで徐々に徐々に移行していきたい。小学校棟があり、中学校棟があり共有棟がある状態から始め、最終的には小中一貫にしていきたい。今、日本の現状からすると一気に小中一貫にしたところは、なにかしらの問題を抱えている。この間、京都の亀岡に学校の先生方も視察に行っていたが、10年をかけて移行したそうです。今、高野山中学校の生徒数は34名です。その人数で中学校単独でなにかをすとかではなく、幼、小、中を一カ所に集めて連携を強めていく。のちに小中一貫を目指すという目標であります。建物として連携を深めるためにも一カ所に、こども園、小学校、中学校があるというのが理想だと考えている。しかし、建設に関して財政負担も考える必要があると思います。そのあたりは協議していきたい。

Q 町長の思いがきけたのが良かった。常々、高野山のあり方についてみんなで考えなければならぬと思っていた。それを行政だけでやるのではなく、住民の意見を聞きながら進めるという視点を持っていたことはいいと思います。それでも個人的意見になってしましますが、施設を新しくすること、コンパクトにしていくこと、みんなで活用することは必要だだと思います。建替えについても老朽化のことを考えると時代の流れかなと思います。ただ、学校は、町の中心にある方がいいのではないかと思います。ある先生が赴任してくれてきた時に、こんなに町の真ん中に学校があり、子供たちがすぐに町のなかにいける。そして町の方が受け入れてくれる。いろんな学習ができる。こういう町だからこそできることだと教えて頂いた。この町に住んでいるとなかなか感じていないことだなと思った。外からの先生の意見で気づかされた。この問題が持ち上がったときに中学校に行くとなかなかそういう活動ができなくなるのではないかと？そういうこともあるのではないかと。思う。

町の中心にあるからこそこの地区からも歩いて来られるということがいいところだと思っていました。色んな理由があると思いますし、保護者だけの視点ではだめだと思いますが、補助金があるからだけで動いているのではなく、0ベースで考えてくれているのはありがたいなと思っています。

町の作り方として学校のあり方を是非考えてほしい。色んな目線で物事を考える、そして学校のことも考えてほしいと思っています。

A 町の中心地にできたらなと思います。現段階では、中学校周辺で考えています。様々の条件を検討した結果、候補地として方針を決めさせていただきました。高野山の中心地ではないけれど、ここが中心になるくらい人が集まって来るよなって言うだけじゃない環境を整備・工夫をしていきたと思います。説明会等を進めるなかで、なぜ中学校周辺が建設予定位置なのかという声も聞こえてくると思います。そこは町として説明をしなければならぬと思っています。小中一貫については平成28年から小中一貫推進委員会で協議していただいたというのもあります。建設完了までの期間を決めて、こういう機関や住民の方と協議を続けて進めていきたい。期間を決めることに批判されることもあるが本格的に動き出すには必要だと思う。教育委員会と推進委員会が中心となって進めてほしい。

A この問題の発端としては、高野山中学校の校舎の真ん中が地盤沈下によって校舎がくの字の状態になっている。その中で小中一貫が出てきた。まず、教育委員会として考えていたのは中学校の建替えです。これを早く解消してあげたいという気持ちがあります。そこに公共施設の整備という話が出てきました。そういうことで子供達にいい学習環境を整備できないかと考え、小中一貫という話がでてきたという流れです。

Q 高野山中学校の校舎が悪くなっている原因はなんですか

A 高野山中学校の校舎が建っている位置は、昭和40年代に自衛隊の協力を得て造成した土地になります。その時に山を削り、谷を埋めたわけですが、校舎の両端が山を削ったところで真ん中が谷を埋めた部分になります。谷を埋めた部分にもくいを打っていますが、時とともに地盤が下がっている状態です。このため、現状の位置に建物を建てる場合は、一度くいを抜いて、再度くいを入れなおす必要があります。それだけの費用がかかってくることになります。そこはご理解ください。

A 町営グラウンドも谷だったと思います。そこを埋めて造成しています。当然、谷を埋めると沈むことはあります。埋めてすぐにその場所に建てれば地盤とともに沈む場合があります。ただ年がたてば落ち着いていくものでもあります。また、中学校の技術室のあたりが土砂災害特別警戒地域相当に該当します。現在の位置に建物を建てるのであれば法面の改修も必要となっていきます。

Q 今、ハザードマップをみると土砂災害警戒地域ばかりですが、中学校へ行く唯一の道である上野山組様の横の法面が崩落すれば帰れなくなるという心配も考えられる。そのあたりはどのようにお考えですか

A 地震等の災害で一番気になるのは土砂災害。通学路をいかに安全にするか。また、災害が起きた場合にいかに早く対応できるように待機をさせていただいておくかということを考えます。道については、災害がおきれば事業者をお願いをして道をあけてもらいます。災害がおきれば高野山の事業者がすぐに動いてくれる体制に現在もなっています。避難が必要な場合は体育館を使って安全に避難させていただいておく。そういう施設を考えていかなければならないと思っております。

Q ここに来てびっくりしたのが10人しか保護者が参加していないということです。あとは先生方です。ほかの保護者のみなさんはこないの？と思った。せっかくの機会なので町内放送をするとか知らせてネットとか、学校から再度連絡があってもよかったのではないかと思います。町長、教育長、教育次長、総務課地籍管財室の担当者さんが来ていただいておりますが、町長の思いが強いのかなと思います。今回の事業については、教育委員会と総務課地籍管財室が担当部署になっているのですか。

A 集めることに広報不足のことをお詫びします。なかなか皆さんの関心をえることができていない。役場の努力不足だと思います。色んな広報をやりたいなと思います。役場庁舎内で公共施設整備検討委員会というのをやっています。各関係課長と管財係が入った会です。ワークショップを中心にいろいろな意見を吸い上げていこうということは管財係がメインとなってやっている。今回の事業については教育分野ということがあって教育委員会と総務課管財係が中心となって事業を進めている状況です。

Q 町長さんのタウンミーティングでも各課長さんが出席されます。この会でも各課長さんが参加してくれば高野町全体で考えているのだなと思うことができる。町長のトップダウンでやっているのではないよと。高野町全体で考えているのだというのがわかるのですが。そんな雰囲気があったらいいなと思いますし、議会の議員さんが来てもらうとか。今日時点、高野町のHP見ましたけど3月議会の一般質問にこの問題を取り上げている議員さんもいなかったと思う。そのへん残念だなと思います。金剛峯寺も一緒になって考える方がいいと思うけど、今回の内容では難しい部分もあるのかなと。でもオブザーバー的な立場で入ってもらうとか検討したほうがいいと思っています。この計画に対して反対するスタンスではないのですが、できれば、小学校は小学校、中学校は中学校を維持できればいいと思っています。少子化などでコンパクトにすることや複合化することはいいことだと思っていますが、ただ、願わくは、従来どおりがいいと思っている。お聞きしたいのはこの事業を0ベースに戻すということが出来るのか？ということです。中学校の建物は老朽化が進んでいると思うが、小学校はまだ建物は大丈夫だと思っている。中学校だけを建替えるということは考えられないのか。

A 方針を0ベースに戻すという選択肢として全く0%ということではないですが、町の公共施設の整備と整理を進めていくなかで方針は進めていかななくてはならない。適正化債を活用するにあたって平成33年度までに工事ははじめないとダメという現状は、国もいろんな要望を受けても延長されるかもしれない。地震や災害のことも考え、進んでいくべきだと思っている。現在でもひとつ乗り遅れている。本来であれば庁舎も建替えを検討していたが、事情があり、願いがかなわなかった。小中学校等の教育施設に絞った。場所については、0ベースではなく中学校周辺にするということを総合教育会議でも、平成30年12月の議会でも方向性を表明している。建物についての意見を聞くということは考えている。

Q 小中一貫校を建設しますと公に表明した方がいいのではないですか？紙面や広報を使うなど。

A 広報がへたくそなのか分かりませんが、議会に対しては伝えていきます。また、役場庁舎を建設する気持ちはない。庁舎として小学校を活用したい、または大学をお借りしたいということも伝えていきます。

Q 前者の方の質問を伺ったうえで質問しますが、小中学校の建設予定地は、うぐいす谷で決定ですか。

A プリントでお配りいただいている場所のということですか。鶯谷地区に建設するということですか。

Q どちらでも結構です。

A プリントでお配りしている赤枠については、町営グラウンドを残した場合ということで考えたものです。ワークショップの中では町営グラウンドを使ってはどうかという意見がありました。町エリアについては、鶯谷地区、中学校周辺で考えているということですか。

Q 決定ということでよろしいですか

A 方針としては鶯谷です。最終決定するのは議会の承認が必要だと思っています。

Q 小学校に建てるのか？中学校周辺に建てるのか？0ベースで考えるのかとかいろいろあると思います。そこは町長さんに頑張ってもらってここで決定しますと言っていた方がどうゆうことを考えるべきなのかとか考えられます。そこはどーんと腰をおろしていただいた方が、話しが進むと思います。また、どちらの場所にあたりまして、ハザードマップを見させていただくと警戒地域に隣接していますよね。それは完全に安全ではないと思います。直接被害がなくても二次災害、三次災害が出てくると思います。どの場所に建てようかそのハードウェアが安全であることをお願いしたい。特にデザインビルドという素敵な試みと思いますが、デザインが先行しすぎて安全性を欠いてしまう。公共施設もそうですが、結構個人住宅も被害を受けております。デザイン重視にならないようにハードウェアが安全であること、そこに行くまでが安全であること。教育長からも小中一貫の方針について説明がありましたが、それができるのも子供たちが元気に安全に暮らしていけるかです。それが第一条件だと思いますので、どちらに建てて頂いても結構ですがとにかくいろいろな面が安全。今後おそらく大きな地震がくると思います。高野山だけは安全という保障はありません。通常の生活が安全確保できる建物にしたいとお願いしたいという要望です。

Q 新しく校舎を建設するにあたって生徒数が減少するなかで小中一貫にあたってどんな内容にするか。具体的に何を考えるのかを考えていく必要があると思う。校舎を建設することによって町の中心地が鶯谷に移ると考えました。町長が鶯谷をはずれと思わないでという発言がありましたが、イメージとしてこのままの状態だとはずれだと感じてしまいます。この前のPTAの役員会で町長がこのことについて説明にこられて役場から鶯谷の道が交通量も多く、人通りも少ないということでバスを走らせたいと言われていました。もしそれで遅刻したときや早退したときはどうなるのか。そのあたりが心配です。町の中心が鶯谷の方に移るとということで図書館とか公共施設を建てるってことですね。前は、大阪に住んでいましたが隣の人とコミュニケーションをとったりしなかった。町を歩いているとお年寄りの方が声をかけてくれ、人間関係が密接している。そこがびっくりした。そこが高野町の素晴らしい所です。今でもお年寄りの方と福祉保健センターで触れ合うことがあります。来ている方は元気な人ばかりです。もっと小学生とか地域の人に触れ合ってほしい。そういう場を作ってほしいですが、鶯谷に作るとさらに行きにくい場所になる気がする。鶯谷が町の中心になるというのであれば、通学だけでなくコミュニティバスを常に巡回してほしい。もっとみんなが集いやすい場所を作ってほしい。地域の人巻き込んで考えてほしいなと思います。

A 町の中心地が鶯谷に移動するというところまで考えて頂いていることはすごくありがたい。違う場所から移住いただいてコミュニケーションをとっていただいている中でそういう場所の必要だという意見。しかし、鶯谷に作ると行きにくくなるのではないかと。また小中学校に関する事など心配ありがとうございます。高野町においても町内会の力が低下している。人と人のつながりは都会よりはあると思う。でも昔と比べると高野町は都会化している。隣近所を気にせず、自分だけよかったらいいやと思う人も増えてきている。各町内会で中心人物がいるという地域が少なくなっている。そのため、コミュニケーションの場を作っていくことも必要だと思っている。小学生や中学生だけがその地区に行くのではなく、お年を召した方も、そこにみんなが行く。そしてコミュニケーションが取れる場所・スペースをしっかり作っていききたい。みんなが来なくなるようにしたい。交通のことにつきましても、現状ではコミュニティバスが走れないというところもありますのでどんな形にするべきかを考えていかなくてはならない。と思います。中心地がここに来ることによって遠くなってしまう方もいらっしゃると思いますが、そこはそういう方も来なくなる、来ることができる場所にしなければならないと思っています。

Q いろんな方の意見、考えを聴くことも必要であるが進めていかなくてはならない部分もある。開校予定が4年後ぐらいになると思うが、それまで毎日が教育の場として学校がある。現状の建物の維持管理は今までどおりやってほしい。今回の話と現状の維持ということで負担が増えると思うがそこはしっかりやってほしい。このような会で保護者として意見もさせていただきますが、現場で働かれるのは先生です。保護者以上の思いがあると思います。先生方の意見も聞いていただき、子供たち、行政、先生、保護者が一体となって是非とも進めてほしい。

Q ハザードマップを見ると中学校に行くまでの通学路が危険地域になっているところが多い。ということは通学路が危険地域であるということです。なにかあれば通学路が使えなくなる。学校自体が孤立状態になる。退路がない。ということは一番危険地域に学校をもっていくことになるのではいか。例えばですが、学校までまっすぐトンネルを抜くとかすれば、一回上って下るようなことをしなくてよくなるし、退路を確保できる。助けに行くこともできる。災害の物資も運ぶことができる。ハザードマップを見ていると校舎だけが危険地区になってないだけに見える。通学路は確保していただきたい。

A 地震については、いつ起こるかわからない。タウンミーティングでもそのことは伝えている。災害のことを想定していないといけませんが、土砂災害警戒地域を全部改修するということは非現実的だと思うが、崩落の危険性が上がっている部分については、これから改修していく必要があると思う。ただ、学校の授業中に災害が起こった場合には、学校が避難所になる。家に帰っても危険な場合がある。今回建てる校舎についても、そのあたりを考えたものにならない。

Q ハザードマップで高野山のなかでも危険地域に囲われている場所と囲われていない場がある。中学校の登り口は全部危険地区として囲われていますよね。囲われている場所は、ほかの地域より災害が起こりやすい場所を示しているのですよね。通学路は全部あぶないと思いますけど工事さえすればその危険性がなくなるということですよ。

A 基本的には、危険地域を全部なくしたい。でもタウンミーティングの時でも住民の方からハザードマップをお配りしたときに危険地区については、全部解消してくれるのかという意見がありました。現実的に、町内全部を解消することは無理です。物理的に無理です。ハザードマップの意味としては、今住んでいる場所がどういうところかというのを知ってもらい意味があります。安全にするためのマップではない。家などを建てるときに参考にしてもらえればと思います。ご心配されているとおり、通学路について、土砂崩れが起きたらどうするか。まずはそれぞれで命を守っていただく。それは一人で登校することをなくすとか。地震がきても大丈夫なような集団行動をさせるとかをまずやっていかないとダメだなと思っています。

Q デザインビルドということで民間の意見を取り入れやすいということも大切ですが、案をみせて頂くと体育館が遠い。高野山の場合雪がある。この小学校の体育館を設置にするにあたって、当時の校長先生は、さまざまな学校を視察されて設計されたと聞いています。高野山の子供たちは雪の期間は体育館で遊びます。それも全生徒は無理です。時間を分けて遊んでいます。二階三階に卓球台をおいてあるのでそこで遊んでいます。中学年・高学年は遊ぶ場所を確保できていますが、低学年は学童保育所があるので、確保できていません。校舎の近くに体育館を建ててあげてほしい。体育館のほかに屋内ゲートボール場のようなものがあればなおよい。またプールについてもできるだけ校舎の近くがいい。そうしないと、なにか起きた時に不安しかない。管理ができない。体育館、プールは隣接した形にしてほしい。校舎からグラウンドが見えるようにしてほしい。子供たちは雪のときは外で遊びます。そのためスキーウェアを乾かせる場所がほしい。今は廊下で干しています。私たちも思いがあります。そういう意見を取り入れてもらい子供たちのことを第一に考えてほしい。

A 学校の先生の意見について、建設に際してどんどん取り入れたいと思っている。教育委員会を通じてでもいいので伝えてほしい。積極的な参加をよろしく願います。